

# 複々線完成効果と混雑緩和に向けた 当面の取組みについて

近郊区間の連続立体交差複々線完成による抜本的な輸送改善

小田急電鉄株式会社

# 1. はじめに

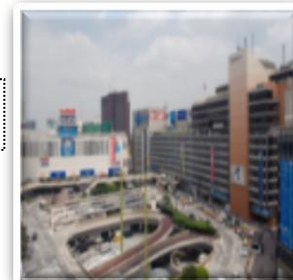
## ■ 小田急線沿線の概要

営業キロ : 120.5km  
複々線区間キロ : 11.7km (代々木上原～登戸)  
1日平均輸送人員 : 210万人  
駅数 : 70駅

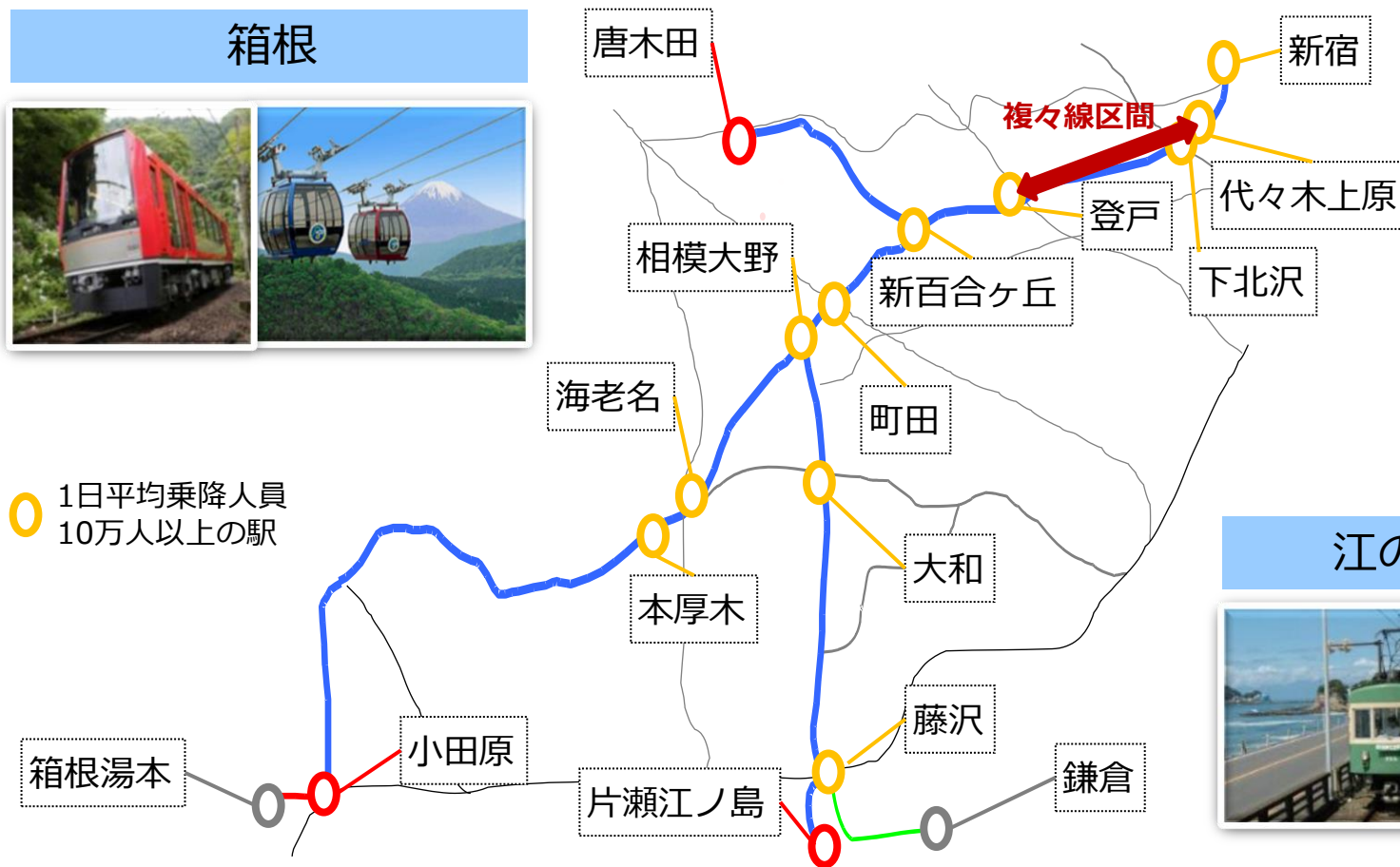
### 箱根



### 新宿

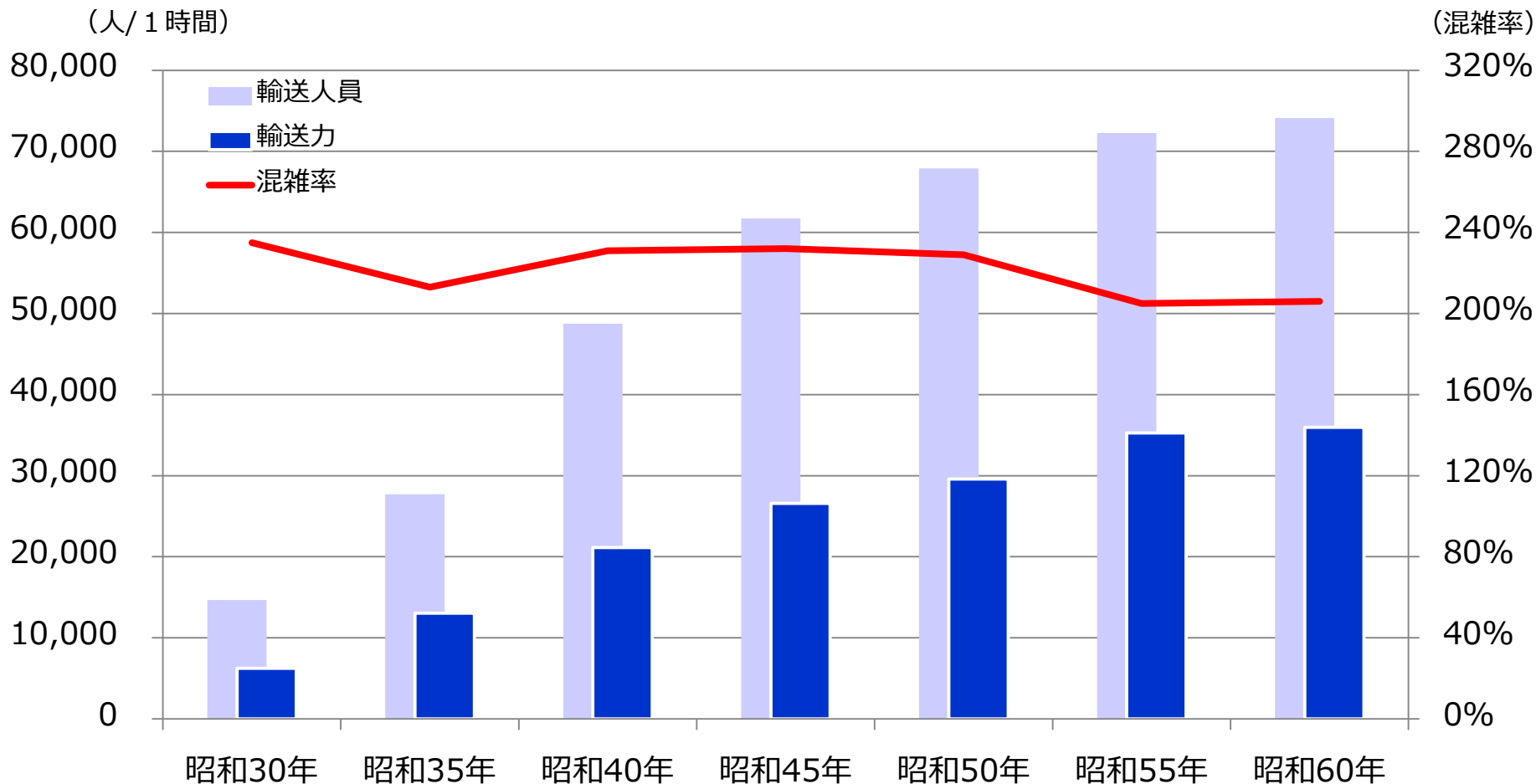


### 江の島・鎌倉



## 2. 複々線化経緯（ラッシュの輸送状況）

### ■ ラッシュピーク1時間の輸送人員（下北沢駅）と混雑率の推移



■ **輸送力増強に取り組んだものの、混雑率は200%を超える状況が続き、  
複々線化工事を実施**

### 3. 複々線完成による主な効果（快適通勤）

#### 1. 列車の大增発で混雑緩和

朝ラッシュピーク時 1時間あたり

複々線完成前 27本 ⇒ 複々線完成後 36本

朝ラッシュピーク時 最混雑区間  
平均混雑率

完成前（2016年度実績）

192%

現在

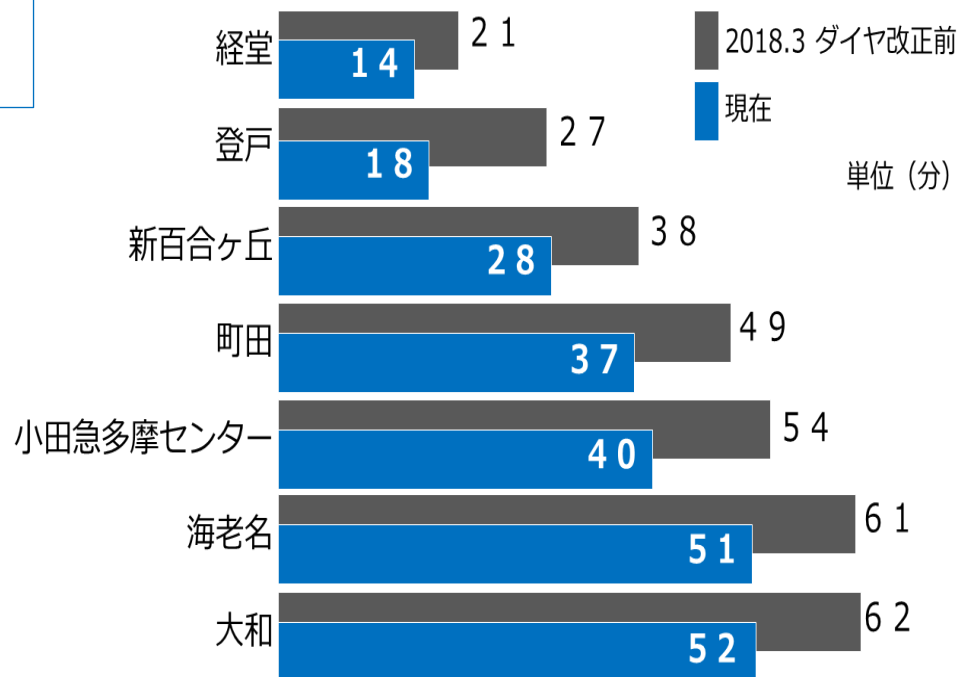
150%台

東京主要31区間中

「ワースト3位」から劇的に改善！

#### 2. ラッシュ時の所要時間短縮

主な駅から新宿までの所要時間の変化



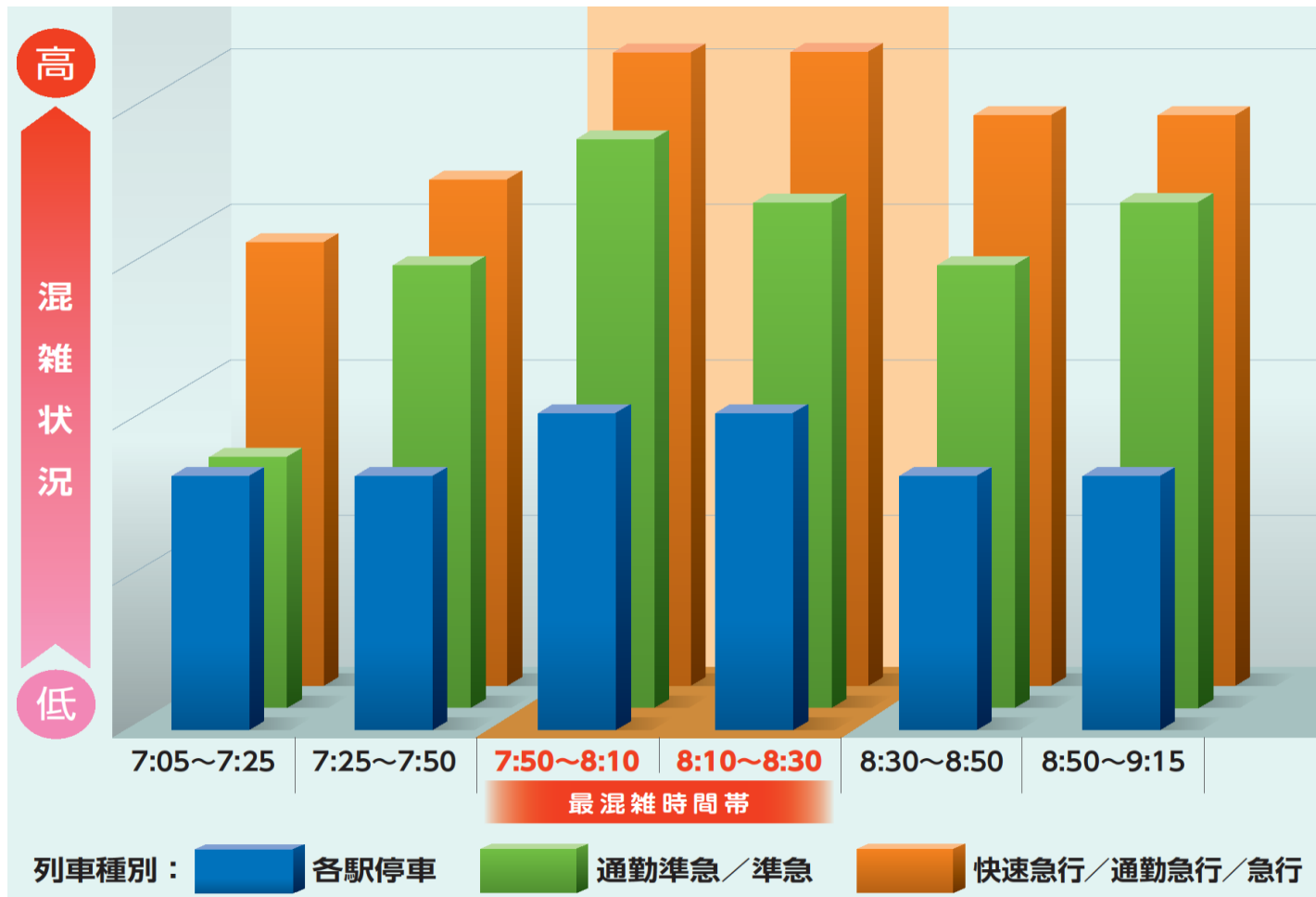
※ラッシュピーク時（下北沢到着8時前後の1時間）の所要時間（分）

事業区間のみならず、郊外の区間においても

所要時間短縮効果が波及！

## 4. 新たな課題

### ■ 朝方時間帯別の列車種別毎の混雑率（下北沢到着時）



### ■ 速達性の高い列車へ混雑率が集中

## ■ 列車種別による混雑率の平準化

### ○ 運行ダイヤの検討

- ・ 各駅停車の魅力UP（速達性向上） ・ 急行系列車の増発 等

### ○ ポイントカード等を活用したインセンティブ策の検討

- ・ 各駅停車乗車時にポイント付与 等

## ■ 朝方ラッシュピークの分散化

### ○ 東京都スムーズBizとの連携

- ・ 広報活動やイベント参加による機運の醸成

### ○ 企業での働き方改革の一助となる施策の検討

- ・ サテライトオフィスの拡充 等

### ○ ポイントカード等を活用したインセンティブ策の検討

- ・ ラッシュピークを避けた通勤利用者へのポイント付与 等

**自治体と鉄道事業者が連携した取組みが重要と考えている**